

日南町内にて国家公務員「初任行政研修」、林業の現場視察などが行われました

平成28年5月下旬より5日間の日程で国家公務員新規採用職員の方「初任行政研修」が日南町内で行われ、3人の方が研修を受けました。6月1日には、新屋地区の町有林・環境林にて、林業に関する現状と課題について林業指導員の方より講義が行われ、その後、森林作業の実習・実演などが行われました。

初任行政研修では、研修員が全国約130団体の市町村に派遣され、行政事務やごみ収集・農作業などの自治体行政の現場を実地体験するものです。(派遣先によりプログラムは異なります)

自治体職員や地元の住民との意見交換を通じて地域の多様性、住民の意識やニーズについて認識を深め、研修体験を通して「使命と職責、公共政策の在り方、公正な公務運営について考える」ことを目的としています。

(参考:人事院HPより)

林業関係の講義では、戦後の復興期と高度成長に伴い、木材の利用が大幅に増え、その需要を支える為に木材の輸入の自由化が行われた事や、バブル景気の崩壊以降、木材の需要が減少傾向にある事など、木材産業を取り巻く厳しい現状についての話がありました。

近年では、山林が伐採時期を迎えた事、高性能林業機械の導入などにより、経営の合理化が進んできたことなどもあり、木材価格は国際取引価格に近い水準にまで競争力がついてきたそうです。林野庁発表の木材自給率は平成26年度で31.2%と、昭和63年依頼の30%台への回復をみせています。

新人職員の方も、日本の原風景のような源流の森林を大切にする事の意義を深く感じてくれた様子でした。



米子木材市場動向

2016年5月11日(水)・25日(水)に開催された米子木材市場の市況

5/11 杉(4m末口径26cm~30cm)11000(m³)/平均...798.799 m³ (出荷量)

5/25 杉(4m末口径26cm~30cm)11000(m³)/平均...1288.028 m³ (出荷量)

4/13 檜(4m末口径16cm~18cm)12000(m³) /平均...433.177 m³ (出荷量)

4/27 檜(4m末口径16cm~18cm)13000(m³) /平均...459.778 m³ (出荷量)

※杉は先月と同価格でした。5/11市では出荷量を減らし、25日市では回復しました。

※檜の価格は先月と大きく変わらず、出荷量はやや減りました。